かりば

島牧村議会広報 第139号 平成24年 4



主

な

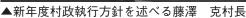
内

容

- ■観光振興対策
- ■合併処理浄化槽事業の公共施設の整備
- 基幹産業の振興
- ■村政執行方針
- 泊原発
- 道道美川黒松内線通行止め
- 学校給食
- 村政執行方針における保健福祉対策

7	/ 1 探 /) 3月5日
ノノ	ソンスト	, SHOL

第1回村議会定例会	
行政報告	2-4
審議した議案	4-5
一般質問	5-16
予算特別委員会	17-20
視察報告	21-25



新年度予算を審議する第1回村議会定例会は3月7 日招集され、会期を3月15日までの9日間と決め、初 日は村長の村政執行方針と教育長の教育行政執行方針 が述べられたほか、損害賠償に関する専決処分の報告 1件、暴力団排除条例の制定等、議案14件を審議可決 し、新年度の各会計予算は予算特別委員会を設置して 審議を付託し、3月13日まで休会に入りました。

再開日の3月14日は、4名の議員が村政に対する一 般質問を行い、予算特別委員会で新年度各会計予算を 審議し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定 しました。

この後開かれた本会議で、後藤予算特別委員会委員 長より審議結果が報告され、いずれも原案どおり可決 されました。

そのほか、平成23年度各会計の補正予算案5件、閉 会中の継続調査1件をそれぞれ可決、決定し閉会しま した。

時間、

委託費約1723万円

在の実績で稼動時間1103 連日の降雪により、1月末現 しましたが、12月上旬からの

1840万円で契約締結いた

ます。 の除排雪委託料が不足するた 半が消費されたところであり となり、 号専決処分の承認につい このことから2月・3月分 万円を今回提出の「議案第 過去の実績を考慮し71 契約額の約95%と大

す。

理解のほど御願い申し上げま 保に努めて参りますので、

今後も地域住民の交通

の確 ご

ては、平成23年12月6日に島 本年度の除排雪につきまし 村道等の除排

いりました。 とし除排雪作業を実施してま 託費予算総額を2586万円 て」のとおり追加補正し、

委

今回473万円を追加補正す が不足となりますことから、 円となり、 委託費の総額が約2578万 時間の累計で1713時間、 54万円となっており、 時間610時間、委託費約8 のため、 ることといたしました。 しかし、 2月分の実績が稼働 3月分の除排雪費 想定を超える降雪 稼働

時間1230時間、

委託金額

牧開発株式会社と除排雪予定

ております。 任は極めて重いものと認識 防止するに至らず、 理設備等の不正利用を未然に 情報のみならず行政運営上、 大な影響を与えたことへの責 る私にとりましては、情報管 重要な情報の管理責任者であ 者であるうえに、村民の個人 り、情報管理システムの設置 ソコンを使用しての事件であ 社会に多 公用

担うべき職員の不適切な言動 行われました行方不明者捜索 信頼を著しく失墜させたこと 等により、行政に対する信用・ の最中、住民の安全・安心を ばならないものと認識すると ての責任を明らかにしなけれ につきましても、 また、昨年12月歌島地区で 管理者とし

告

村長

終息したところであります。

しかしながら、このたびの

懲戒免職となり事件としては しては、12月21日付をもって れた島牧小学校教諭につきま 違反(公然陳列)容疑で逮捕さ 児童買春・児童ポルノ禁止法 存じますが、昨年10月23日、

事案につきましては、

会

既に皆様ご存知のこととは

村長の減給処

議会広報 かりば 139号

ころであります。 つきましては、これら事案

邁進するよう指導してまいり る注意喚起を行なってまいり じないよう、情報管理システ のとしたところであります。 5割、1か月の減給を科すも 存じます。 ますのでご理解を賜りたいと を再認識し住民福祉の向上に しては、公務員としての自覚 ますとともに、職員に対しま 強化や、不適切な利用に関す ムに係るセキュリティ対策の 必要であると判断し、自らに に対して自らを処することが 今後、このようなことが生

後志広域連合の運営

件の特別会計予算が可決され 例会が2月28日に開催され、 ております。 のもと、一般会計予算及び2 新年度に向けた行政執行方針 後志広域連合議会第1回定

8751万円であり、各会計 事業特別会計については51億 85億9159万円、介護保険 保険事業特別会計については、 出の総額は、一般会計につい ては7097万円、 平成24年度各会計の歳入歳 国民健康

> ます。 のでご理解を賜りたいと存じ 効率的に運営できますよう、 格的に行われており、 及び介護保険事業の事務が本 積極的に参画してまいります 歳入歳出予算の合計額は13 - 度から、国民健康保険事業 億5007万円であります。 後志広域連合では、平成21 今後も

漁協水揚げ状況

ありました。

となりました。 額で1億2080万円程 抜きの漁獲金額は9億20 獲量は3798トン、消費税 べ、漁獲量で590トン、金 0万円余りで、平成22年に比 年の島牧漁協としての漁 の増

ます。 込みましたが、サケ、ホッケ、 増により、 額とも大幅な増となっており あり、特にサケは数量及び金 タコ、イカの増によるもので カナゴ、ナマコ、エビが落ち 漁獲量ではサケ、スケソウの この要因といたしましては 漁獲金額では、イ

ている魚種は、サケが171 ますと、数量で前年より増え 魚種別に前年との比較を見 ン、スケソウが362トン

> 00万円程で前年の倍以上に ている主な魚種はサケが84 が目立つ程度であります。 ラが26トン、カレイの25トン の増加となり、 と大幅に増加し、その外では タコが3880万円程の増で イカが60トン、タコが35トン 次に漁獲金額ですが、増え イカが1340万円程、 ホッケが3750万円 減少魚種はタ

下がったことにより2830 30万円程、ナマコは単価が 2090万円程、エビで13 万円程の減額となりました。 以上のとおり、平成23年分 減少したのは、イカナゴが

して参りたいと考えておりま り育てる漁業の推進等につい ます漁業振興を図るため、作 後とも本村の基幹産業であり 程増えはいたしましたが、今 漁協と連携しながら努力

地元企業の操業停止

り すが、2月22日島牧商工会よ 農産物加工についてでありま はじめに、有限会社東日本 経営者全員が見当たらな

> なっておりました。 操業停止となっており、自宅 調査をいたしました結果、 加 いとの情報提供があり、山菜 道具が持ち出された状況と につきましても、全ての家財 に製品の一部を放置したまま 工場については、機械類並び した公営住宅について、状況 工場並びに居住しておりま 加

の水揚げ金額は前年より15% ました。 税などで70万円程の滞納・未 していること、村に対しては なり内2名が村民であること ところ、従業員10名が解雇と 払いがあることが判明いたし 村内企業に多額の未払金を残 に伴う影響について調査した するものと推定し、操業停止 いわゆる「倒産」状況に類

滞納・未払金が滞りなく支払 取られること、並びに村への 的影響を受けられた方々に対 得られておりませんが、経済 処理に至っているのか情報は あります。 いされることを望むところで し、一日も早く適切な措置が 3月7日現在、法的 にな清算

ります。 島牧の一時休業についてであ 次に、株式会社ソー イング

先般, 2 月 29日株式会社

> り ざいました。 業を一時休業する旨の話がご ソーイング島牧代表取締役よ 3月中旬頃から工場の操

営計画が成り立たないとのこ の説明でありました。 し等について交渉中であり、 とであり、発注予定数の見直 24年度の発注予定数では、経 かねてより示されていた平成 式会社オンワード樫山から、 せざるを得ない状況にあると の間、工場の操業を一時休業 これらの問題が解決するまで 状況といたしましては、

解を強く求めてきたところで 等の観点から、生産効率の見 上げ報告いたします。 力を賜りますようお願い申 ありますので、ご理解・ご協 ためにも、発注予定数の見直 てきたことを重く受け止め 備投資など様々な支援を行っ 用の大きな場となっている地 営努力を申し入れるととも 直しや経費節減等による経 融資の問題、地元雇用の問題 し等による最大限の支援と理 ソーイング島牧の安定経営の 元企業であり、 ンワード樫山に対し、本村雇 に、発注元である株式会社 村といたしましても、資 村としても設

指定寄附

式会社様より葬斎場備品とし させていただきたいと存じま **晶テレビ1台の寄贈がありま** につきましては、大切に活用 したのでご報告いたします。 て、37インチハイビジョン液 ご寄附いただきました備品 去る1月25日、 島牧開発株

新年度予算

▼財政調整基金の一部処分

▼一般会計予算

·国民健康保険事業特別会計

簡易水道事業特別会計予算 介護保険サービス事業特別

▼後期高齢者医療特別会計予 会計予算

·合併処理浄化槽事業特別会

これらの議案は、 全員構成

> ことに決定。 による予算特別委員会を設置 し、これに付託して審査する



・専決処分の報告

対する損害賠償額の決定、損 1賠償額84, 3 3 1 円。

・専決処分の承認(平成23年 度一般会計補正予算(第7

号)

整基金繰入金855万円追加 業補助金99万円追加、財政調

雪委託715万円追加。 歳入・歳出ともに954万 地域支え合い体制づくり事

◎全員賛成で承認

00万円とする。

円追加し、予算総額22億65

委員として字千走、吉澤伊久 ▼人権擁護委員候補者の推薦 法務大臣に対し、 人権擁護

公用車運転中の接触事故に

地域支え合い体制づくり事

業99万円追加、除雪車修繕料 140万円追加、村道等除排

◎全員賛成で原案可決

◎全員賛成で原案同意

子氏を推薦



定

▼島牧村暴力団排除条例の制

なって暴力団の排除を推進す 住民、事業者が一体と

◎全員賛成で原案可決



条 例 改 正

でも開催できるよう条例を改 (11月3日)以外、前後の日程 ▼島牧村表彰条例の一部改正 表彰式の開催日を文化の日

◎全員賛成で原案可決

・島牧村部及び課設置条例の 一部改正

◎全員賛成で原案可決 役場行政機構の部制を廃止。

▼島牧村職員の育児休業等に 関する条例の一部改正

立を図る。 児を支援し、育児と仕事の両 制度」を利用し、村職員の育 「育児のための短時間勤務

整備。 制度」の勤務時間等について

◎全員賛成で原案可決

▼島牧村特別職の職員の給与 の一部改正 及び旅費支給に関する条例

◎全員賛成で原案可決 と並びに職員の不祥事により、 の適正な維持管理を怠ったこ を1ヶ月間、5 影減額する。 管理者責任として村長の給料 情報管理設備(パソコン)

◎全員賛成で原案可決 地方税法が改正されたことに 防災に必要な財源確保のため、 伴い、条例の一部を改正。 ▼島牧村税条例の一部改正 東日本大震災からの復興、

▼島牧村体育指導委員の定数 及び任期に関する条例の一

◎全員賛成で原案可決 委員に変更する。 導委員の名称をスポーツ推進 定されたことに伴い、体育指 スポーツ基本法が新たに制

▼島牧村職員の勤務時間及び 休暇等に関する条例の一部 ▼災害弔慰金の支給等に関す 災害弔慰金の支給対象とな る条例の一部改正

「育児のための短時間勤務 加える。 る遺族の範囲に、兄弟姉妹を ◎全員賛成で原案可決

▼島牧村乳幼児等医療費助成 条例の一部改正

◎全員賛成で原案可決 されることによる条文の整理 童発達支援センターに一元化 による支援を行う施設が、児 知的障害児通園施設等の通所 児童福祉法の改正により、

◎全員賛成で原案可決 ▼島牧村重度心身障害者及び 改正内容、前議案に同じ。 成条例の一部改正 ひとり親家庭等の医療費助



▼平成23年度一般会計補正予 算(第8号

279万円減額、子ども手当 情報化)事業国庫·道補助 システム改修国庫補助金31 (小田西川ほか) 国庫負担金2 万円追加、地籍調査(数値 公共土木施設災害復旧事業

◎全員賛成で原案可決

減額、 政調整基金繰入金715万円 備補助金569万円減額、 400万円減額、雪寒機械整 万円追加ほか。 歯科診療所収入341 財

歳出

580万円減額ほか。 る予算整理のほか、地籍調査 浄化槽事業特別会計繰出金1 人847万円減額、合併処理 473万円追加、雪寒機械購 1万円追加、村道等除排雪費 **万円減額、歯科診療委託34** (数値情報化)事業委託533 各種事業の完了見込みによ

388万円とする。 万円減額し、予算総額22億2

◎全員賛成で原案可決

▼平成23年度国民健康保険事 業特別会計補正予算(第2

一般会計繰入金27万円減額

2万円追加、財政調整基金積 額し、予算総額7496万円 立金1349万円減額。 歳入・歳出ともに27万円減

歳入

歳出

後志広域連合分賦金132

◎全員賛成で原案可決

調査とするもの。

調査について、閉会中の継続

497万円減額、一般会計繰 循環型社会形成推進交付金

▼平成23年度簡易水道事業特 別会計補正予算 (第5号)

般会計繰入金91万円追加。 水道使用料124万円減額

とする。 額し、予算総額7965万円 歳入・歳出ともに33万円減 維持管理費35万円減額ほか。

◎全員賛成で原案可決

・平成23年度介護保険サービ ス事業特別会計補正予算 (第2号)

歳入・歳出ともに4112

円減額、一般会計繰入金21 介護サービス収入231万

歳出

減額ほか。 3万円追加ほか。 居宅介護支援事業費19万円

とする。 額し、予算総額3525万円 歳入・歳出ともに30万円減

·平成23年度合併処理浄化槽

事業特別会計補正予算(第

3号)

円減額ほか。 槽事業債・辺地債1900万 入金1580万円減額、 浄化

歳出

か。 設置工事3303万円減額ほ 助金477万円減額、浄化槽 歳入・歳出ともに4041 水洗便所改良等工事資金補

<u>そ</u>

の 他 ◎全員賛成で原案可決

9万円とする。

万円減額し、予算総額778

▼北海道市町村総合事務組合

規約の変更について 上砂川町が砂川地区広域消 組合

◎全員賛成で原案可決

規約を変更する。 防組合に加入したため、

議会運営委員会の所管事務

事業の公共施設の整備

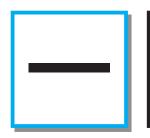
▼閉会中の継続調査

中田 仁史 議員 観光振興対策

> 論 基幹産業の振興

長尾 文裕 議員 村政執行方針 泊原発 道道美川黒松内線通行止め 学校給食

瀬戸川豊 議員 村政執行方針における保健福祉対策









回村議会定例会での 般質問の 内容と理事者側の回答をご紹介します。 今回の質問者は4名で、 その全文を 掲載しました。

対

中 田 史議員

今後外国人が多くなることは、道の動きや小樽市、後志の動きを見てもあきらかです。

パンフレットや観光看板、ホームページに中国語、韓国語、英語の表記を入れてはどうでしょうか

と思います。観光産業の対象とするお客様、いわゆる観光客は、以前はほとんど日本人でしたが 島牧村の未来にとって観光産業は大きな可能性を持っている産業であることは皆さん同じ認識だ

問

藤澤村長

備を進めているところでござ までの舗装など、積極的に整 質問でございますが、質問者 の遊歩道」や「狩場山登山口 いますことから、「賀老の滝 も認識しているところでござ 可能性のある産業であると私 きましては観光産業は大きな が申されるとおり、当村にお 観光振興対策についてのご

13名宿泊の実績がございまし りますと、 民宿に対します入込調査によ が、一昨年の平成22年度には の実績はございませんでした 今後本村におきましても外国 人客の宿泊等については昨年 現状において本村の旅館 質問者のご指摘のとおり、 当村における外国

> するところでございます。 なっております。 の道の駅に配付する予定と きましては本年3月中に管内 語版の「しりべしガイドブッ 語版、平成23年度からは韓国 平成21年度から英語版と中国 志総合振興局におきましても ク」を作成し、本年度版につ 人客は増えていくものと推察 このような状況に鑑み、後

ます。 光客の受入体制を整える傾向 で進んでいるところでござい 後志管内の動きも外国人観

います。

協会と連携し、 から徐々に取り進めて参りた いと考えておりますので、ご 解賜りたいと存じます。 村といたしましても村観光 できるところ

中田議員

ませんけれども、 お金が多少かかるかもしれ そんなにか

◀賀老の滝方面を案内する観光案内看板

思いますけれども、本当にこ ると思います。 たりから観光客がどんどん来 台湾、シンガポール、香港あ れからアジア、中国や韓国

するということだと思います。 あると思うんです。色々、一 りようです。 しく改装されまして凄い変わ 生懸命考えて、色んな行動を からなくてもやれることって 昨年、新千歳国際空港が新

皆さん行かれた方もいると

貿老の滝方面は、 のため車で行くこ

(ちはせ川温泉までは行けます)

思いますので、ぜひやれるこ ちょっと書いているんですけ きたいと思います。 とから積極的にやっていただ うことがやはり観光産業を盛 ると、そういう村になるとい 光客に対して親切なことをす ほど多額なお金がかかるわけ ぜひ入れるということはそれ れども、やはり英語、中国語、 大変大事なことなんだろうと んにしていくということでは ではないと思いますから、観 した中国語と韓国語、これを できれば台湾圏の中国の簡略 ホ そんな時に今、 ームページは英語だけ 島牧村



6

問

ないでしょうか。

後 藤

議員

基幹産業の振興

本村経済の活性化には、

ついても振興策が必要であります。また、若い人達が定住するには就労機会を創出し、

基幹産業である漁業、農業は云うに及ばず商工業や観光業に

産業後継者の育成には、携わる産業の経営安定化策が必要であります。

村政執行方針をお聞きしましたが、具体的な産業振興策、計画について伺います。

藤澤村長

画についてのご質問でござい ますが、村政執行方針で述べ 具体的な産業振興策及び計

指摘のとおり、

ございますが、ご質問者のご 育成には携わる産業の経営安 たことと若干重複することも 産業後継者の

ついては、 るところでございます。 定化策が必要であると認識す はじめに水産業振興対策に 作り育てる漁業を

ソ

イ、ウニ、ナマコ、サケ・

おりますことから、3施設を 場所としても広く利用されて ましては、村内住民の利用は 改善センター」及び「若者総 ター「おあしす」・「永豊生活 すが、本目ふれあい交流セン ところでございます。 最優先に整備することとした もとより他市町村との交流の 合スポーツセンター」につき どうかとのご質問でございま 藤澤村長 口併処理浄化槽を設置しては ご質問にございました役場 利用頻度の高い役場庁舎に 存じます。

「おあしす」のトイレはまだ新しく簡易

合併処理浄化槽事業

中

田

史

議員

の公共施設の整備

本年度の合併処理浄化槽事業の設置予定基

及び本目教員住宅1棟の4基になっています。

般住宅の18基と公共施設の本目ふれあいセンタ 「おあしす」・永豊改善センター・スポーツセンタ

水洗トイレとなっているので、使用度が高く、お客 様も多い、役場庁舎を本年整備した方が良いのでは

設でありますことから、 民のほか多くの方が訪れる施 **庁舎につきましては、一般住**

中田議

あしす」をやらなくてもい 本目ふれあいセンター おお しかし、

年を経過しておりますことか 物であるものの、反面、 ますので、ご理解賜りたいと いて検討して参りたいと考え で合併処理浄化槽の設置につ で、その結果を踏まえたうえ 耐震診断が必要でありますの 安全性が確保されているかの ら、特に地震災害に対しての の防災拠点となる重要な建 築 44

えるところではあります。 することが必要であろうと考 本庁舎は災害発生

んです。 ということではなくて、緊急 けれども、水洗トイレなのか くなるようなトイレを先に無 度を勘案して、やはり目が痛 は、私もいつも使っています 大事なのではないかなと思う くしていくということが大変 そういう点で「おあしす」

す。 要望をして終りたいと思いま 変劣悪なので、島牧村役場は トイレになっています。 なと思うほど大変使いやすい か、これは要望ですけれども、 いですし、先にされては如何 村外からのお客さんも大変多 しかし、役場のトイレは大

かりば 139号

推し進めて資源の安定を図る

ことが必要でありますので、

マスの放流事業の継続実施と

業も引き続き実施して参りま 極的投入による地力増進事業 すが、将来的にも農業を継続 する農地流動化対策などの事 や耕作放棄地化を未然に防止 実施していくため、堆肥の積 は2戸にまで減少しておりま てでありますが、本村におい て畜産農家を除いて専業農家

ております。 に厳しい状況であると認識し 中、小売商業者の方々は大変 い個人の消費嗜好が変化する 済環境や生活環境の変化に伴 いてでありますが、社会・経 次に、商工業振興対策につ

をとっているところでござい 外流出を防止することを目的 に対し、補助するなどの方策 すプレミアム商品券発行事業 に、商工会が実施しておりま し、売上の増加と購買力の村 そのため消費購買力を刺激

皆さんもありますよね。

る特産品の開発など、「賑わ いの創出」や「六次産業化の 有の地域資源や技術を活用す え、イベントの開催や本村特 これら即効的な方策に 加

> 携を図りながら、積極的に取 賜りたいと存じます。 的な方策について商工会と連 経営改善や個性化など、具体 推進」に加え、「消費者ニー ズへの対応」のための個店の 進めて参りますのでご理解

いと存じます。 おりますので、ご理解賜りた 取り組んで参りたいと考えて 今後も産業振興策に積極的に させていただきましたが 以上、産業振興策として述

思います。 ども、確かにそのとおりだと ご答弁をいただきましたけれ ただ今、全般に当てはまる

年)を持って参りました。 長選挙パンフレット・平成19 して以来、私は今朝これ(村 しかし、今まで村長が就任 村長、これ持っていますね、

定のために村長、一歩踏み出 点でも、島牧の生活向上、安 いますか、村長。この中の1 たことありますか。 この5つの中に何て書いて

農業でもやりようによっては 生活している基盤、 これだけ島牧で魚が獲れ、 方法がい

ね。

てもいいのではないかなとい

をとれないんですか。 歩でも上げられるような政策 して、農家、漁業の所得を一 それをどうして一歩手を貸

くらでもあるでしょう。

どう思いますか。 書なんですか。これに対して これはただ書いただけの文

藤澤村長

うふうに思います。 と遠くてあれなんですけれど 住民の皆さんにお配りしたパ も、私が1期目の時に最初に ンフレットではないかなとい 今、示されたそれはちょっ

たというふうに自負しており れ相応の対応を私はとってき いた部分につきましては、そ のすぐにでも手を付けてやる べきことということで述べて

置など、そういうようなこと システムづくりということ すぐに販売していけるような いく、また生産されたものを 接的な生産がお金に変わって いわゆる農業者の皆さんの直 すと、例えば、農業問題等で、 売できる販売コーナー等の設 具体的なことで申し上げま

> でございます。 を積極的に進めてきたつもり

けれども、私としても着実に 何も一歩踏み出していないと いでおりますので、ご理解賜 いうご指摘ではございました 歩ずつ歩んでいるという思 そういったようなことで、

ですか。

その中に書いてある、当時

道の駅等にも生産者が即

りたいと思います。

貸してあげないんですか。 あれをどうして農家の人達に 鉄骨のハウスがありますよね。 話をこの間、聞いてきました。 今、テラピアのあとの横に 簡単に言えば、農業の方の

派に自立してやっているじゃ のですか、一つ考えても。 ないですか。 る農家さんおりますよね。立 べ、利用する方法を考えない か、色んな部分で手を差し延 それと今、椎茸をやってい 農家の人達に苗を作ると

事さんに持っていきましたよ ウスやっていますよね。この に応援して、今、大々的にハ住をされて、伊達市が全面的 理町から伊達市にイチゴの移 この間、新聞でも宮城の巨 できたイチゴを北海道知

> を付けるような行政を皆さん アイデアを出してあげないん に呼びかけて、村が指導なり、 島牧でもどうして付加価

話が返ってくるそうです。 を出せばいいんじゃないです こまで出来ないとかっていう 聞けば、お金がないからそ お金がなかったらアイデア

ういう決意があるのかないの れば我々も協力しますし、そ 今後やっていくというのであ か、ちょっとお伺いします。 そこまで村長が考えながら

藤澤村長

挙げていただいてのお話がご ざいました。 今、具体的に2点ほど例を

を待つのではなく、もっと村 く、官主導で進む場面があっ が積極的に行政指導をしてい 等がないか聞きながらやって 関係につきましては、いわゆ ういった意味では農業者との いる実態にはございます。 す。そこを通じて様々な要望 る農業生産振興会がございま ご承知のとおり、本村、 逆に、農業者からの申し出 そ

般 質 間



長

尾 文 裕

藤澤村長

的な行政運営に努める」と述 担を残さないよう、常に効率 ます「次世代にできるだけ負 村政執行方針に述べており

ところでございます。

地方税収が構造的に少ない

方交付税により賄われている

村政執行方針を拝聴して 議員 問 云々と述べられておられますが、その真意をお伺い致します。 村政執行方針の中で、村長は、次世代にできるだけ負担を残さないよう

ございますが、ご承知のとお 歳入予算全体の58. ても本村の財政運営における り平成22年度決算におきまし べた真意についてのご質問で 1%が地

たっては地方交付税措置がな いるところでございます。 刻な財源不足を引き起こして わゆる「三位一体改革」等に 上回る地方交付税の減額が深 より税源移譲による増収分を 本村のような自治体では、 このため、事業執行にあ

ない努力をする考えを込め、 基金等を可能な限り減少させ のための事業に率先して臨む を持たせ、住民サービス向上 債などを充当し、財政に余裕 呼ばれる過疎債、或いは辺地 される、いわゆる優良起債と ことができるよう、財政調整

うにも話をしてはいるところ ておりますので、むしろそう えは私としては基本的に持っ でございます。 ふうには、いつも農業者のほ を共に探っていきたいという えにできる可能性というもの いう小規模農業地であるがゆ ても積極的に支援していく考

らが自助努力云々というの

農業自体はまずは農業者自

対しての支援等は、先ほど申

その上で、基盤的な部分に

し上げたとおり行ってきてい

るつもりでございます。

併せて今後ももっと具体的

のも事実かと思います。 は、非常に大きな部分がある うご質問者のご指摘かなと思

ます。 きたいと思うところでござい ば、私もぜひ聞かせていただ な何かいいアイデアがあれ そういった意味で、具体的

また、

うであるならば、もちろんこ

く農業者のほうからもあるよ な生産に対しての要望等が強

れからもそれに対して村とし

▶ノリ採り(鷹ノ巣 ▲宮内地区の稲刈り

ハウス等の利用につ

ます。 考えておりますので、よろし とについては私も積極的に対 くご理解いただきたいと思い 処していきたいというふうに の活用等があれば貸し出すこ きましても、積極的にハウス

り、農業の方々、漁業の方々 考えであれば農業振興会な げて欲しいと思います。 向きな姿勢で相談にのってあ でも相談に行ったならば、前 村長がそのような前向きな

ざいます。 執行方針に述べたところでご

存じます。 効果を上げることを念頭に、 すので、ご理解を賜りたいと めて参りたいと考えておりま 常に効率的な行財政運営に努 今後も最小の経費で最大の

9

間

ありきたりの答弁かなと思

申したでしょう。 なりますよと、それは前にも ば、この島牧に人が住めなく 今の状態を続けていったなら なるかもしれませんけれども、 後世代の時代に対して負担に 牧を考えた場合、それは多少 島牧で今後10年、20年先の島 今、これだけの閉塞感がある ていると思うのですけれども、 している部分、お感じになっ んだ内容的な部分、私が意と ご自身もそれ以上の突っ込

なと。

態が来ますよ。 島牧に若い者は残りませんよ。 らない。そのために色んなこ たけれども、本当にそんな状 も、皆さん笑っておられまし 会の中でも言いましたけれど とを模索して欲しいというこ には仕事を創出しなければな と、今のままであれば本当に 昨年ですか、私が予算委員 やはり島牧に定着するため

していけるという、そういう の産業に関わったならば生活 をきちんと起こす、また、そ に人が定着できるだけの産業 もありましたけれども、島牧 今、私の前の後藤さんから

> ければ駄目なのではないのか 推し進めていっていただかな 交渉するということをもっと 私具体的に言いましたけれど なかったら私は本当に島牧に 能性を、またそういう人材を も、四方八方手を尽くして可 投資的経費を思い切ってかけ 、が残れないと思います。 そういった意味で、昨年も

> > れるよう最大限の努力をして 先、島牧村が島牧村として残 み出した状態で、10年、 らに向けてもう少し今一歩踏 聞きしませんけれども、 いちいち村長の行動は私お 20 年 それ

あることから、国道・道々の

安全確保を要望するとともに

援なども併せて要望してきて

北海道の積極的関与と財政支 原子力防災計画の策定に関し ます。 ん。 いただきたいと。 これはもう答弁は求めませ 私の要望で再質問は終り

昨年の福島原発の事故以来 原子力発電に関し、国はじめ各 関係機関において、安全性等に ついていろいろ協議されており ます。 そんな中、泊原発については 後志町村会が中心になって種々 議論されているようですが、村 長は町村会の中で、島牧につい てどの様な意見を述べられてお られるのか、お伺い致します。

尾

裕 文

議員

藤澤村長

け 0 け に対するご質問でございます して、如何なる考えを基本的 に持っているのかということ れども、 あと出ましたのであれです れども、 泊原発の事故発生等を想定 その新聞記事に出 たまたま新聞にそ

> だきます。 をまず最初に述べさせていた わらぬものであるということ 事故発生当時から終始一 ていた中身というのは、 一貫変 私は

にあるか、 泊原発とどのような位置関係 それからこの機会に本村が 今までの様々な話

> ざいます。 半径30た圏というのが広く一 れども、 措置区域、「UPZ」ですけ おります。 させていただきますけれども、 等の関係を要約して申し上げ 般報道されているところでご 「UPZ」という言葉が出て 泊原発から同心円で いわゆる緊急防護

す。 なというふうになっておりま が範囲に入ってくるぐらいか PA」という表現をされてい ちょっとかかってくるのです トンネル永豊口側の付近まで ウ素対策地域に位置し、大平 るかと思いますが、放射性ヨ ということで、報道等でも「P ウ素剤の配備を準備する地域 腺被ばくを避けるため安定 物質の雲の通過に備え、甲状 が、50キ圏内いわゆる放射性 半径50+圏内、40+圏内から に含まれております。本村は 管内では目名付近までが範囲 るのかなと思います。蘭越町 では美谷付近ぐらいに位置す 図面に落とすと寿都町管内

会のみならず様々な場で述べ 見を述べているのかとのこと ましたとおり、 につきましては、先ほど言い 後志町村会でどのような意 私は後志町村

らず、後志圏域として事故発 もって避難路の確保が重要で 事故発生時にあっては、まず 等の締結が必要である。また、 れることを網羅した安全協定 生の通報や経過情報が受けら *Bの範囲、現在13町村に限 先ほど言いましたUPZ、 ていることでございます

ことでもございます。 り、従来より私の述べてきた ても要望してきたところであ これはまさに後志町村会とし 見交換の場を設ける」方針を 管内全体の自治体と北電の意 したが、北海道知事が「後志 いるところでございます。 示したところでありますが、 先般、新聞記事がございま

ご理解を賜りたいと思います。 意見を述べて参りますので、 ましい協定内容となるような ありますが、今後も後志圏域 はもとより島牧村としても望 言及されて間もない状況では 安全協定のあり方について

30

あるかもしれないけれども、

からいくと危険な日は何日か てから、島牧は泊の位置関係

りましたけれども、最近のテ 安全じゃないのかと思ってお

レビの天気予報、

雲の流れと

それについてもう少し村長

色々な条件の問題、それが飛 ても春先、ほんとに天候が良 状況の中で、この島牧におい 300をも飛んでいるという ら200年、濃度によっては 散している状況が100まか 見ますと当然、気象条件等々、 りますけれども、あの地図を の記事が出ていたと思います。 もチェルノブイリの原発事故 確か昨日の道新の記事の中に 新聞等でも色々と報道されて ちょうど大震災から1年とい うことではありますけれども え降る状況であります。 くなれば中国からの黄砂でさ ム、一番懸念されるものであ う状況の中で、テレビ、また 全体として要請していくとい 放射性物質、放射性セシウ 町村会全体として後志管内

ですよね、ほんとに。 んていう話じゃなくなるわけ る「UPZ」、そんな30toな 50まであれば議論されてい 私も色々な所の問題が起き

> もの凄く感じています。 た場合、この島牧に十分飛ん ると、万が一、泊で原発事故 か雪の降り方なんかを見てい でくるなとそういう危険性を があって放射性物質が拡散し これは低気圧、高気圧等々

という確証は何もないわけで ともっと強調してもいいので すから。 じて要請している部分、もっ 中で確かに村長が町村会を通 ですけれども、そんな状況の はないかなと。50きで安全だ 関係があるのかなと思うん

ても島牧は50きなんて。 能が飛んでいる状況から言っ 実際問題、福島原発の放射

けでしょう。 そこまで指示を出しているわ 内から自国民は逃げなさいと、 原発事故が起きた時に80き圏 ですから、アメリカがこの

うふうに思います。 と強く要請して欲しいなとい ので、それらを踏まえてもっ 多方面からの資料もあります れども、再度もう少し色んな 事故が無いことを望みますけ 離れているけれども決して安 全じゃないんだということで、 そんな中で、確かに50きは

> いと思いますけれども。 の見解があれば、お伺い した

藤澤村長

質問者の考え方と全く同感で けれども、基本的な考えはご 私も先ほど申し上げました

ただきたいと思います。 の基本姿勢でございます。 な考え方で臨んでいるのが私 よる範囲です。必ずしもそれ は国が示した1つの同心円に 30t、50tという、「EPZ」、 発生しているのも事実です。 30き、50きのレベルではなく のことを十分まずはご理解 が絶対ではないという基本的 トスポットと呼ばれる場所が UPZ」、「PPA」、これら そういったことを鑑みた時、 福島の問題にしても、 ホッ

なと思います。 東の風が吹くと一番こちら側 風方向でいくと、いわゆる北 泊原発との位置関係でいけば、 に流れてくる傾向が強いのか また併せて、本村が確かに

仮に1日でも1時間でも強い り得ないということではない。 ませんが、決してそれは起こ 年間を通じて少ないかもしれ 確かに北東の風というのは

> 持っております。 ポットとなり得る危険性は十 風 分に有しているという認識は 言えども、まともにホットス があった場合には、本村と

というのも非常に多くなって らのほうに避難してくる場面 因でも起きた時には逆にこち ども、万が一それら以外の要 事故があっては困りますけれ なっていった時に万が一何か らないわけですから、そう とばかりが全ての原因とはな くるのではないかと。 必ずしも地震津波等によるこ に言われておりますけれども のような事故原因というふう わゆる地震津波災害によるあ また今回、福島原発は、 (J

ているところでございます。 というものは非常に必要な、 の機関に対して、また場面あ 万全の構えで、常にそれぞれ ていくというふうにも認識し しての大きな交通の要になっ いわゆる生活路から避難路と 道5号線等々、これらの体制 また、道道美川黒松内線、 そういったこと等も併せて そういった時に229号線

裕

議員

で、ご理解賜りたいと思いま ているところでございますの るごとには強く要望していっ

す。

でよろしくお願いいたします。 で基本的に臨んで参りますの これからもそのような姿勢

道道美川黒松内線通行止

、吹雪の場合、通行止めになる事は充分理解できますが ち着いている中、通行止めが続く事に対し、村として関 係機関とどの様な協議がなされているのか、お伺い致します。

般 質

間 藤澤村長 冬期間における道道美川黒

ございます。 解除となっていない、ご質問 との理由で未だに通行規制が 間・日中に通行規制され、そ 昨日までの間で74日間が夜 の12月1日から本年3月13日、 るものの、 通行規制が行われることがあ 吹き溜まりのため止むを得ず ますけれども、 機関とどのような協議がされ 者のご指摘のとおりの状況で までの36日間、積雪量が膨大 のうち2月7日から昨日13日 松内線通行止めについて関係 ているかとのご質問でござい 今シーズンは昨年 例年、降雪や

先ほど申し上げましたとおり 通行を可能とするため、 後志総合振興局並びに小樽建 あることから、 避難道路として重要な路線で される道路であり、災害時の きますと唯一他町村との連絡 本村にとりましては国道を除 を強く申し入れて参りました。 設管理部に対し早期規制解除 ない状況とは言え、本路線は 合振興局長から長期通行止め 応急対策として緊急車輌の 自然の猛威の前で止むを得 先般2月24日、後志総 再三にわたり とり

> ころでございます。 雪を行い、2月29日 図って参りたいと思っており 冬期間の通行止めの解消を としてシェルターの増設につ 雪対策並びに除雪方法の見直 めるとともに、次年度もこの ては早期の全面規制解除を求 すので、後志総合振興局並び 民生活に支障を招いておりま 能とする旨の連絡があったと いても検討するよう要望し、 しを求めるとともに、手段等 ような状況とならないよう防 あえず1車線確保のための除 .小樽建設管理部に対しまし いずれにいたしましても住 輌のための1車線通行を可 から緊急

長尾議員

と思います。

ますので、ご理解を賜りたい

雪いても2日か3日後には通 しても、 が強いという状況ではあるに らはないんじゃないのかなと。 どの通行止めというのは今、 しれませんけれども、 美川黒松内間が舗装されてか たいということになるのかも 確かに去年暮れからですか、 村長の立場ではご理解賜り また特に今年はしばれ 今までであれば、吹 これほ

してくれていたんですよ。

車輌とは何ですか。 行のための1車線、 まず、このへん伺います。 話を伺えば緊急車輌通 この緊急

藤澤村長

うな場面想定での向こうは話 急車であったり、 そういうよ のは一般的に言うところの救 すけれども、緊急車輌という という向こうは言い方なので でございました。 いわゆる緊急車輌、

柵ですとか様々な対策がとら けれども、その後かなり防雪 間というのがあったそうです の中で3ヵ年の中では、 すけれども、確かにここ数年 いかというご指摘でございま だけの期間というのはちょっと れてきているのが現状で、これ なにあったことはないです。 でも62日間というのがたまた いうことはなかったのではな にこれだけ通行止めが嵩むと まございますけれども、こん それから過去において実際 平成17年には100日

3日後には開通するというこ 異常であると思います。 また先ほども言いましたけ 長期間にわたって2

▲道道美川黒松内線(月越峠)。議会による現地調査。長続く

通行止めについて、北海道後志総合振興局関係者と協議。

▲シェルター内に吹込み車道を塞ぐ雪、高さ約2.5流。緊急 時のため一車線のみ除雪してある。

ると。 となく、ずっと継続的に行っ やはりとんでもないことであ ているということに対しては、

2車線を確保して通行させる というふうに何も手を付けな そういうこともご理解賜りた ます、その話があった時に。 うことでは話は当時しており 線を確保していくということ ためとして、とりあえず1車 いというのではなく、早急に けていくための第一歩である はなくて、それは2車線を開 いと思います。 には止むを得ないですねとい 私は1車線確保でいいので

長尾議員

時には災害があった場合、そ 車輌、また緊急時、その緊急 とも入っている中で1車線し り、津波だったり、また原発 の災害というのは地震だった はとても私自身は納得いきま か開けないというのは、それ の事故だったり、そういうこ 私も若干耳にしている緊急

だって8千万強ですよ、そこ 松内線防雪柵工事の入札まで しているんですよ。その金額 まして、3月8日に美川黒

> もっと強く要請してもいいん 間が一番悪いわけでしょう。 と言われましたけれども、1 じゃないですか。 にしてもらうような、それを あそこを全面的にシェルター であれば、今、村長がちょっ までお金を突っ込んでくるの 目と2つ目のシェルターの

とりあえずはまず2車線、片 しれませんけれども、ここで 側1車線ずつ交互通行できる 再度要請していただきたいと 伴っていないですから。 生活する者にとっての実態が 振興局長から電話きたのかも ように再度強く、いくら総合 それは今後の問題にしても 近々に開けていただくよう、

思います。それに対して、村長

藤澤村長

目時教育長

した。 地へ実際に歩いて行ってきま 先週、金曜日の日に私も現

例年になく多い雪だなという ことを感じました。 ターの間というのは確かに 第1シェルターと第2シェ

います。

ご存知のことと思いますが

行止めが当たり前の如く起き であって、 ているというのは異常な事態 しかし、だからといって通 先ほどお話しまし

> えました、現地に行ってみて。 ように、私には正直言って見 柵もあまり役に立っていない たとおり新しく設置した防雪

ような形をとってでも冬期間 にシェルターでつないでいく ターと第2シェルターをさら であるならば、第1シェル

> 電話等でも話はさせてもらっ 欲しいという思いでおります。 ていますが、改めて正式に要 の通行確保をぜひともやって このことはさっそく当日の

望等していきながら強く要請 よろしくお願いいたします。 して参りたいと思いますので、

教育行政執行方針の中で 般の事情による野菜類について 心配されていることが述べられ ておりますが、学校給食につい 、地産地消等々いろいろな面 から、畑物についても、もっと 村内居住の方々に協力をお願い 子供達に安全安心な給食を 提供すべきと考えますが、 長のお考えをお伺い致します。

ております。

尾

文

裕

議員

ての有効活用のご質問かと思 るべきだと、地産地消につい もっと地元野菜の提供も考え 菜類の高騰と、その安心・安 全性を心配するのであれば 学校給食で提供している野 ますし、常に課題と感じてい していないと私も思っており けの給食食材としての提供は 提供は必ずしも納得できるだ るところではございます。 上の問題により、地元産品 いことや魚は衛生管理や調理 農家の供給体制が整わ

していくかということですけ れども、 食材をどのように給食に提供 そこで、これから地元産の 一番の問題は数量と

の野菜類や魚などについて 利用しておりますが、その他 米については全て島牧産米を

> 作っている家庭に色々協力し とで、これについては農家と 時期的な部分での供給をどの ような人達を発掘してグルー と、魚を調理加工する、その る家庭を私達が多く知るこ りで数量が少なくても供給し ますが、家庭菜園的な野菜作 ように安定させるかというこ 口なのかなというふうに考え プ作りをするのも一つの切り ていただける野菜を作ってい て貰う。野菜の種類にもより いう捉え方ではなく、野菜を

りを模索して参りたいと思っ 課題がたくさんありますし、 ているところでございます。 し時間をかけてその体制づく まず村の方々に考え方を周知 すが、その可能性を探るべく、 時間を要することだと思いま の量や単価など詳細な部分で だけるか、利用する野菜とそ だけの方々にご協力していた いずれにしましても、どれ

な

なと思うわけであります。 ことは、教育長の今の答弁 だいたい私が言わんとする

ういう形で畑に野菜を蒔いて

13

自家消費と言いますか、

般 間

ます。

いる方、

結構おられると思い

ない、だけれども自家消費に は多い、そういう方々、 製品として出荷するまでも

ら もらうという意欲を持ちなが 熟年の方もそうでしょうけれ 孫や曾孫に食べさせる食べて ども、例えば、高齢者の方も 今までより1つでも2

うという取り組みをですね、 らって、それを提供してもら かなと思いますけれども、 ちょっと今、時間がかかるの つでも多く一緒に作っても

けれども、 しんどいことかなと思います よう、教育委員会として大変 生きがいを持って畑に行ける 牧の中で畑を蒔いている人が 何とか実現に向け

> す。 うことで私の質問を終りま て頑張っていただきたいとい

> > 14

村政執行方針における保健福祉対策



具体的にどの様な事を念頭に入れて推進しようとしているのか、お伺いします。

問

民の方々が日中活動出来る多目的施設の整備を推進する、と述べているのですが、 村長は村政執行方針の中の保健福祉対策の中で、高齢者と障がい者及び地域住

ているところでございます。 活動の場となる「共生型サロ じて、日常的に多世代が集い 方々にも力を発揮していただ る諸課題に対し、高齢者等の ン」としての活用も併せ考え き、イベントや食の体験を通 立」や「孤食」から生じてい また、現在総合福祉セン

藤澤村長

を持たれる方々が手芸、木工 では三障がい、 援センターひだまり」、これ 活動を支援する「地域活動支 しております障がい者の日中 身体・知的、三つの障がい いわゆる精神

基本的には高齢者や障がい

とを念頭に入れて推進するの

して、具体的にどのようなこ 設整備を推進するにあたりま

かとのご質問でございますが、

というところがございますが

ターの居住部門の中に集会室

そこを使用いたしまして実施

民が日中活動できる多目的施

高齢者と障がい者及び地域住

村政執行方針で述べました

ているところでございます。 等、まさに日中活動できる多 れらの活動の場としての活用 常に狭隘となっており十分な 活発化とともに活動場所が非 を行っておりますが、活動の 紙細工などの製作と販売活動 活動が困難な状況にあり、こ 目的施設の整備を念頭におい なお、具体的な場所等につ

用する考えでおります。 場を確保するという考えのも 常的に様々な多世代が集える ども、これにつきましては日 と、旧島牧建設の施設跡を活 いてのお話になるのですけれ

大きな元社屋・重機等の車庫 現在、旧島牧建設跡地には

高齢者や障がい者等の「孤

なることを考えておりますが、 きる「ふれあい交流の場」と 住民の誰もが立ち寄り利用で 者・子ども達等、また、地域

顕著に現われつつある

ます。 的施設として整備する考えで ておりますが、元社屋を多目 事務所付き住宅などが残され 検討しているところでござい

分かの補修費をかけることに 昨今の住宅事情を見たとき幾 いと考えており、さらに国道 格納する車庫として利用した 理しておりますが、これらを め季節によっては屋外等で管 車庫等が整備されていないた いても現在、村の雪寒機械の て参りたいというようなこと できるのであれば、再利用し よりまして住居としても利用 に面する住宅につきましても、 また、構内の重機車庫に

> 今年の2月23日をもって破産 だきます。 とも申し添えまして、ご質問 参りたいと考えておりますこ 財産購入すべく調査を行って されると聞いておりますので、 近く第一抵当権者により処分 に対する答弁とさせていたた 管財人のもとを離れまして、 島牧建設跡地につきましては、 も考えております。 いずれにいたしましても旧

瀬戸川

した。 縷々説明をしていただきま

日中色んな地元住民はもちろ 既存の施設については既

議会広報

かりば 139号

当初全くどういうことなのか あえて村長がこの度、 見当がつかなかったのですけ 針の中で多目的施設の整備と いただきました。 れども、今、具体的にお話を いうことが出てきましたので、 が活用されている。その中で、 んですけれども、 様々な方々 執行方

するというお話がございまし して旧島牧建設の跡地を利用 いていて懸念するところは、 えていただきたいことがあり た。このことについて1つ考 「ひだまり」の活動の拠点と ただ、今の村長のお話を聞

ります。 要するにお医者さんがいると いうことが大前提になってお ものが、まずすぐ側に診療所 置している根拠、理由という 活動拠点が居住センターに位 それは「ひだまり」という

関が近くであったほうがいい ということは必然であります。 もし旧島牧建設跡地に建設す はりお医者さん或いは医療機 等を念頭に入れた時には、 分に健康面やら突発的な事故 緒にするということで、 なぜかというと障がい者と 一方においてそれを 多 P

> だまり」については徳美会、 はありませんので、今現在「ひ これは村自体でできることで この話を検討するにあたって 島牧慈光園が関わってやって 修をするとなった時に、 るとなれば、或いは修理、 ることと思いますけれども、 当然 補

ことは、 長が執行方針に述べたという 活用する際に、このことを村 この跡地を多目的施設として という問題点、それからもし れとも今後これからするのか し合いがされているのか、そ 島牧慈光園或いは徳美会と話 少なからずそれに関

ますけれども、 かと思いますけれども、 わる設置費用、

藤澤村長

りてやっているというふうに 認識いたしております。 こという、たまたま一部を借 なくて利便性等の関係であそ ん。なかなかそういう場所が のようには認識しておりませ のですけれども、私は全くそ るというふうに今お聞きした 近いということが大前提であ ンターである理由は診療所が が現在開催している場所がセ まず1点目、 「ひだまり」

いかなと思います。 ご勘違いされているのではな のですけれども、あれはあく 光園さんのほうで実施されて ものでございますので、何か までも実施主体は村でありま いるというふうにお聞きした の活動自体が徳美会さん、 確かに集まっている皆さん それと2点目の「ひだまり」 村の直営で行っている 慈

おります。

売り渡すというふうに聞いて

▲「ふれあい交流の場」、「共生型サロン」など、多目的な利用を予定している

地の買収、その他諸々あろう 念頭に入れているものと思い しているのか併せてお伺いし へんどれくらいのものを計上 補修或いは土 補修費用等を 、その

たいと思います。

るのは事実でございます。 活されている方等々が来てい 関係の自立されて園を出て生 んにいる方、また慈光園さん 場合によっては慈光園さ

離れて今年度末、いわゆる3 どのようになっているのかと 月中に債権回収会社のほうに 管財人の手を離れた以降、 北海信金さんが管財人の手を 信金さんなのですけれども、 施設、場所等を購入するにし とおり、いずれにしても当該 いうことでございますけれど ちょっと違うというふうにご として処理するということで、 月末までの間に第一抵当権者 ても、第一抵当権者、これは し上げさせていただきました も、先ほどの答弁の中でも申 わる予算措置等、当初予算が 事業そのものの実施者は それから3点目の設置に関 解いただきたいと思います。

それができないということで しましたけれども、 ことで信金ともちょっとお話 の交渉ができないのかという あくまでも債権回収会社のほ これは前に、 例えば、 向こうは 村と

うに売り渡す、

その上でそち

旧島牧建設社屋

たい。したがって新年度以降、 ればそれらの交渉ができないればそれらの交渉ができない という状況になっております。 そういった諸々の状況がありますので、当然価格等もま だ明確な部分を示すことができないという形になっております。 ことはご理解いただきたいと 思います。

と思います。 という表現に確検討していくという表現に確めさせていただいてあったかと思います。

等に関わる資金の問題でございますけれども、これにつきましては財源根拠として想定しているものは国の交付金制度等がございますので、それらを財源として上限額があってのいわゆる100%交付金で、既存施設等を活用してので、既存施設等を活用してので、既存施設等を活用してのく考え方でおります。

となれば、村側はそういっ

ます。 について説明させていただき 以上、先ほどのご質問内容

光園等の関係もありますので、

瀬戸川議員

ということです。 とにいたほうがいいんだといくにいたほうがいいんだということについては、そういううことについては、そういうのは、やはりお医者さんがすのは、やはりお医者さんがする。 サはりお医者さんがする している で しゃ お話をした際に出てきたのは、やはりお医者さんがする。 しゃ おいうことが大事になってきますということです。

う答弁がありました。
う答弁がありました。
その中においてもし診療所というふうないら離れる場所というふうなどするのは先ほど村長がおった。
ではってくると、そういいのではないです。

置しなければ、ならないというそういうものも出てきます。 そのへん等も十分に勘案いただきまして、予算を計上する上においてもそのへんも念頭に入れていただきたい。 また、確かに村が主体的にもっていることではあります。

> 村が把握していない事例、事 で、そのへんまた話し合いす で、そのへんまた話し合いす る場を持って、より間違いの ない、そして村長がおっしゃ るように地域の方々、また、 高齢者も障がいを持つ方々も 一緒に活動できる、そういう 施設の建設に向けて頑張って いただきたいと思います。 私のほうからは以上です。

藤澤村長

ただ今、「ひだまり」に参加されている方達が深く関わっていらっしゃる慈光園さん等々の話し合いと言いますか、様々なご意見等の問題、それらにつきましてはこれから実施に向けての中で十分にそういうような場面を作りながら、ご意見を伺いながら進めて参りたいと思いますので、よろしくご理解願いたいと思います。



気軽に

議会を傍聴してみませんか。

- ◇定例会は、年4回開かれます。(3月・6月・9月・12月)
- ◇臨時会は、必要に応じて開かれます。
 お問い合せは、議会事務局まで(電話75-6274)

(八重咲きカランコエ)

平成24年度 一股 予算

21億3200万円

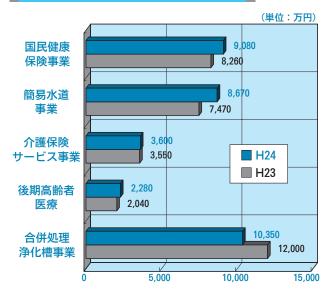
前年度対比 4.3%減

平成24年度の各会計予算は、3月7日開会の第1回村議会定例会において、 全議員で構成する予算特別委員会を設置、これに審査を付託し、3月14日審議 しました。

3月14日に再開した本会議では、後藤予算特別委員長から審議の結果、原案 のとおり可決すべき旨報告があり、採決の結果、各会計とも委員長報告のとお り可決しました。

会別

特別会計予算規模



▲審査状況

主な事業・一般会計

予算総額 213.200万円

総務費 1/2



▲予算資料を手に取り説明を聞く傍聴者

- ■LED防犯灯設置工事 50万円
 - 環境に配慮し、電気料金を抑える。小学校、中学校付近に11箇所設置
- ■歌島児童館駐車場整備工事 108万円
 - 児童館横に駐車場を整備、面積200平方メートル
- ■集会施設浄化槽排水設備工事 550万円
 - 生活改善センター、本目おあしすのトイレを水洗化する
- ■防災ガイドマップ作成委託、標高調査等委託、非常用衛星携帯電話・災害時用雨具・防災備蓄品整備 610万円

防災マップを全戸配布。また、村内各所に海抜を表示し防災に役立てる。非常時に備え衛星携帯電 話、雨具を整備し、毛布、食料などを備蓄する。

総務費 2/2

- ■元町漁村センター階段改修工事 86万円 玄関前階段、手すり改修
- ■地区会館外壁塗装工事 100万円 植車地区会館、第一栄浜地区会館
- ■バス交通確保対策事業 1446万円 ニセコバス㈱のバス運行経費を補助し、バス路線を確保する
- ■民間バス借上助成事業 480万円 各種団体の活動に伴う民間バス借上利用に対し助成する



▲高校生の通学(ニセコバス)

民生費

- ■保育所環境整備工事 210万円 照明の LED 化、保育室にエアコンを設置
- ■高齢者除雪サービス事業 126万円 概ね65歳以上の独居老人・老人夫婦世帯を対象に自宅玄関先の除雪
- ■高齢者配食サービス事業 217万円 概ね65歳以上の調理が困難な人を対象に食事を配達
- ■外出支援サービス事業 69万円 高齢者などを診療所、公共施設等へ送迎し在宅生活を支援
- ■生きがい活動支援通所事業 827万円 高齢者など要介護状態とならないよう、生活訓練、趣味活動等を行う
- ■緊急雇用創出推進事業 235万円 介護ヘルパー補助員2人を期間雇用し介護ヘルパーを育成
- ■社会福祉協議会運営助成 1128万円
- ■福祉灯油助成 157万円



▲餅つき(保育所)

衛生費

- ■診療所診療機器購入 1272万円
 - 内科…内視鏡洗浄消毒装置、歯科…歯科ユニット、レーザー装置、デジタルシェード自動測定器
- ■がん検診事業 80万円
 - 子宮頸がん、乳がん、大腸がん、前立腺がん
- ■子宮頸がん等ワクチン接種事業 294万円 子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌
- ■妊婦超音波検査拡充事業 12万円
 - 超音波検査の公費負担回数を6回から8回に拡充
- ■季節性インフルエンザワクチン接種費助成事業 78万円

農林水産業費

- ■経営林道賀老線整備工事 3000万円
 - 継続事業、賀老の滝から狩場山登山道入口までの林道舗装工事
- ■有害鳥獣処理施設整備事業 1456万円
 - 農林業被害防止のため駆除したヒグマ、エゾシカ等を解体処理
- ■トド被害防止対策事業 761万円
 - 強化網購入助成、ハンター出動費、猟銃免許取得経費助成
- ■種苗生産施設管理事業 750万円
 - ウニ、ナマコ等の種苗を生産・放流、つくり育てる漁業を推進
- ■ウニ天然種苗深浅移殖事業 200万円
 - ウニを水深の浅い藻場に移動し育てる。35万粒



▲マゾイ親魚から稚魚を生産(種苗生産施設)

商工費

■緊急雇用創出事業 445万円

失業者に対する短期の雇用、就業機会の創出。草刈・除雪等を行い、環境を大切にする村づくりを推進

- ■中小企業景気対策利子補給事業 300万円
 - 景気が後退する中、企業が金融機関から借入した資金に対し、利子の一部を補給し企業経営を支援
- ■商工会運営助成 1518万円
- ■ソーイング島牧運転資金貸付金 3800万円
- ■中小企業融資預託金 300万円 中小企業への貸付に係る預託金

土木費

- ■ホンベツ川河岸整備工事 163万円 三味地先、延長10粒
- ■村道永豊泊通線側溝整備工事 300万円 側溝整備 U型トラフ 延長57流

消防費

- ■消火栓用ホース購入 94万円 ホース(口径65mm) 50本
- ■消防救急無線デジタル化基本設計業務委託 180万円 消防救急無線デジタル化に向けた電波状況調査
- ■車庫屋根葺替工事 192万円 第6分団(原歌)、第7分団(栄浜)の2棟
- ■小型動力ポンプ付積載車購入 1103万円 第5分団(元町)に配備

教育費

- ■教員住宅浄化槽排水設備工事 400万円 本目教員住宅(単身者用住宅)1棟4戸のトイレ水洗化
- ■スポーツセンター浄化槽排水設備工事 315万円 スポーツセンタートイレの水洗化
- ■乗用芝刈機購入 144万円 千走山村広場管理用芝刈機 1台
- ■外国語活動講師委託 84万円
 - 小・中学校及び保育所の英語教育、オーストラリア人講師
- ■教員住宅屋根塗装工事 78万円 平成12年度建設本目教員住宅 1棟4戸
- ■小学校屋上防水塗装工事 109万円
- ■給食センターエアーカーテン交換工事 40万円 虫などの進入を防止し、調理室を衛生的に管理する
- ■人材育成事業 290万円 小学生国内研修視察、5年生13名参加、東京方面







▲オーストラリア人講師による外国語活動

災害復旧費

■ホンベツ川災害復旧事業 1249万円 成田地先 復旧延長20〜、三味地先 復旧延長32〜



▲ホンベツ川・成田地先。河岸決壊し 排水溝底面が落下

主な事業・特別会計

国民健康保険事業特別会計

予算総額 9,080万円

■後志広域連合分賦金 8581万円

後志広域連合は、地方分権時代における国・道から町村への事務権限の移譲、多様化した広域行政需要等に適切かつ効率的に対応するため、平成19年、管内16町村(3町村不参加)で設立。国民健康保険事業、介護保険事業等の広域化・集約化が可能な事務について共同処理を行っている

簡易水道事業特別会計

予算総額 8,670万円

- ■水質検査委託 655万円
 - 村内了箇所の浄水場の原水、浄水を検査
- ■本目浄水場無停電電源装置購入 44万円 計装盤、管理用コンピューター用無停電装置 2台
- ■水道メーター取替工事 976万円

歌島・豊浜地区の水道メーター取替、有効期間8年間

介護保険サービス事業 特別会計

予算総額 3,600万円

■デイサービス運営業務委託料 2555万円 日常生活上の世話や機能・適応訓練を行う

後期高齢者医療特別会計

予算総額 2,280万円

■後期高齢者医療広域連合納付金 2220万円 事務費負担金、保険料等負担金

合併処理浄化槽事業 特別会計

予算総額 10,350万円

- ■浄化槽維持管理業務委託 342万円
 - 保守点検 57基
- ■水洗便所改良等工事資金補助 399万円

19戸分、1戸あたり21万円を上限に補助

■浄化槽設置工事 7892万円

净化槽設置基数 23基、実施設計業務委託料、設置工事費

視察報告

2月14日から16日までの3日間、道外視察を行いました。 視察地 茨城県大子町・袋田の滝、栃木県日光市・華厳の滝 目 的 観光開発における先進事例調査

袋田の滝 茨城県久慈郡大子町

大子町は、茨城県北部県境に位置し、町の北東部は福島県矢祭町に接する。人口は2万人を僅かにきる町である。 また、町の中心を東京都上野駅を起点とする JR 常磐線の水戸駅に接続する JR 水郡線が貫き、常磐自動車道、東 北自動車道からの交通アクセスも容易である。行政区域の8割は山岳地帯で、八溝山、男体山を擁する奥久慈の大 自然と清流久慈川、4ヵ所の温泉、りんごを始めとする特産物、今回の視察目的である「袋田の滝」が観光の柱と なっている。

■ エレベーター整備の理由と既存施設

今回の視察の主な目的は、滝を中心にした観光開発による村内産業の活性化である。

「袋田の滝」におけるエレベーター施設の建設は、近年観光客が減少した事に対する打開策として、観瀑施設の 整備を図ったものである。

エレベーター施設は、平成20年度に完成し供用開始しているが、既存の施設は昭和54年に整備した長さ276 行の人道用トンネル、吊り橋及び観瀑台等である。県立自然公園であるため茨城県が事業主体で建設したものであ る。



じる参道。 土産店、 食堂などが軒を連ねている



明を受ける 菊池課長から施設概要について説料金所前にて、大子町企画観光課





トンネル内部。天井部分に整備されているイルミネーション 「四度の滝不動尊」が祭られている (夕方以降点灯)



エレベーター建設事業

エレベーター建設事業は、平成13年の基本設計、17年の実施設計に始まり、5億2千万円をかけたエレベーター・ 観瀑台建設工事は平成18年から3ヵ年を要し、施工管理を含めた総事業費は5億7千万円余りとなった。事業費 の財源は、県施設であるトンネルの利用料1億9千万円を特定財源とし、残りを過疎対策事業債としている。また、 事業主体は大子町である。





新観瀑台No.1 から見たエレベーター入口、右手横に非常階段の入口が見える エレベーター出口方向から見た新観瀑台No.1

観光客の入込みと施設管理

エレベーター施設の整備目的は前段でふれたが、平成20年度の完成年における観光客、施設利用者数は88万人 を越えたものの、2年後の平成22年度は70万人を割り、「昨年は東日本大震災、福島第一原子力発電所事故の影 響もあり相当落込んだ」との町担当者の説明であった。

しかし、施設利用料(大人300円)は平成22年度において1億8千万円。指定管理者である大子町開発公社への 管理料、約5千万円/年を差引いても収入は1億3千万円を計上している。







左の写真は新観瀑台No.1 から見た袋田 の滝

中央の写真は新観瀑台No.3から見た袋 田の滝、自然公園内であり視線を遮る 立木の伐採は許可されない

右の写真は下流に架かっている吊り橋

■ 安全設備

エレベーター施設の安全面を見てみると、停電時などに備え2基のエレベーター脇に非常階段が備えられていた。 また、 停電したときは階の途中で停止する事が無いよう設定されている。

■ 袋田の滝

トンネルを潜りエレベーターで昇って辿りつく新観瀑台は、日本三名瀑の一つに数えられ、岩肌を4段に流れ落ちる「袋田の滝」を圧倒的なスケールと臨場感で観光客を感動させてくれる。また、一年を通し営業できる環境は、四季ごとに変化する滝の姿が訪れる人々を魅了する事でしょう。

施設全体を通して、滝へのアプローチは容易であり、ある程度の勾配は有るものの介助者を伴い車椅子でも観光できる施設環境にある。しかし、反面人里から離れ、大自然の雄大さに触れると云う観点からは興味が薄らぐ感を免れない。いずれにしても、温泉、土産物屋、茶店、食堂等の施設を包含した「袋田の滝」は訪れやすい観光地である。



大子町、益子町長の歓迎挨拶





長尾副議長、お礼の挨拶



新観瀑台No.3にて。左から大子町議会藤田事務局次長、 企画観光課山崎係長、菊池課長、視察参加者

華厳の滝栃木県日光市

「華厳の滝」も前段の袋田の滝と同様、日本三名瀑の一つに数えられ、落差97粒を一気に流れ落ちる様は壮観である。日光は云うまでも無く日本を代表する観光地の一つだけに東照宮、輪王寺、二荒山神社の世界遺産があり、中禅寺湖、戦場ヶ原、男体山等を擁する日光国立公園でもある。「華厳の滝」はほぼ日光の中心に位置している。「華厳の滝」に設置されているエレベーター施設は昭和5年に開業され、民間企業が運営している。定員30名、2基のエレベーターが高低差100粒を上下し、利用料金は大人530円、所要時間1分間で、年間を通して運転していた。観瀑台からは遠くに「華厳の滝」を見ることになり、スケール感に乏しい。しかし、いろは坂から見た「華厳の滝」は男体山、中禅寺湖を背後に控え、雄大な景色を楽しませてくれた。

季節が2月と云うこともあり、景色に寂しさはあったが、観光地として規模の大きさを感じた。

エレベーター 施設棟







エレベーターを降り、観瀑台へ通じるトンネル。観瀑台では土産物を販売する小さな売店が営業していた

むすび 視察を終えて

日光には、国宝・重要文化財が収められている二荒山神社、徳川家康公を祀る日光東照宮、重要文化財の三仏堂がある日光山輪王寺など、世界遺産に登録された建造物がある。

また、それらを擁するように日光国立公園があり、男体山、水面の海抜高度日本一を誇る中禅寺湖、そこから流れ落ちる「華厳の滝」など観光には事欠かない。歴史書をひもとくような由緒ある社寺や自然の営みが悠久のときを経てたどり着いた日光国立公園、日光観光は昭和29年のいろは坂有料道路の開通など、道路網の整備を契機としその地位を確立していった。

視察の主な目的は、滝を中心にした観光開発による村内産業の活性化である。

栃木県の日光「華厳の滝」と茨城県大子町の「袋田の滝」は観光地としての規模を考えたとき、周辺の観光施設を含め比較にならない。今回の視察では、観光の経営形態の違い(「華厳の滝」エレベーターは民間企業、「袋田の滝」は町営)、及び自治体規模(大子町は過去50年間で人口が50公減少し、現在の人口は2万人を割っている)を考慮し、茨城県大子町の「袋田の滝」を視察の中心に据えた。

繰り返しになるが、「袋田の滝」観瀑施設は、訪れた観光客に圧倒的なスケールと臨場感で「袋田の滝」を表現し、 観光客を感動させてくれる。

順序立てて話を進める、先ず最初に観光客を迎えてくれるのは、参道沿いにある茶店、土産物店などである。呼込みの声やガラス越しに見える店内の様子は自然と観光気分を盛上げてくれる。

トンネル手前の料金所までは多少勾配はあるがアスファルト舗装されたスロープが続き、中間の僅かな平地を利用して鉄筋コンクリート造のトイレ棟が建設されている。

トンネル以降の施設利用料は大人が300円、子どもは半額の150円に設定されていた。トンネル内天井部に設置されているイルミネーションは、色とりどりの灯りで幻想的な雰囲気を創り出し、コンクリートに囲まれて歩く 圧迫感を和らげてくれそうだ。残念ながら、この時は時間がまだ早く点灯していない。トンネル内には外に、「四段の滝不動尊」が祭られていた。

エレベーターは、既設観瀑台から観光客の目線を標高差にして43次一気に押し上げ、標高の違う3つの新観瀑台は滝の姿をそれぞれに変え私たちに見せてくれた。

一年を通し営業できる環境は、指定管理者による運営を可能にし、7・8人程度の雇用を生んでいる。加えて、 温泉等の宿泊施設利用、特産品の販売など波及効果は大きいことが想像できる。

島牧村の産業が行き詰まりを見せる中。「賀老の滝」を中心とした観光開発、村内産業の活性化は、島牧村として生き残りをかけた、また、議会に課せられた命題の一つである。

大子町のような、施設利用料を徴収し財源とした、エレベーター等の思い切った観光施設整備、或いは、施設整備に頼らず、在るがままの大自然を観光客自身が理解し、訪れる価値を高める観光のあり方。勿論、積極的な行政からの情報発信、自然愛好家や専門家による「狩場茂津多道立自然公園」を題材としたパネルディスカッション、イベント開催等は必要不可欠である。

いずれにしても、行政、住民、議会が一丸となって取組んでいかなければならない。





賀老の滝

議会日誌

[1月]

- 6日 消防出初式 (改善センター 佐藤議長ほか)
- 8日 成人式 (おあしす 佐藤議長ほか)
- 12日 例月出納検査
- 18日 後志広域連合議会臨時会 (倶知安町 佐藤議長)
- 20日 全員協議会、新年交礼会
- 28日 民主党北海道2012年新春パーティー (札幌市 佐藤議長)

[2月]

- 3日 参議院議員徳永エリ新年交歓会 (札幌市 佐藤議長)
- 5日 いちはし修治新春の集い (倶知安町 佐藤議長)
- 7日 南部後志町村議会正副議長会先進地視察 (白老町 佐藤議長、長尾副議長)
- 9日 後志広域連合議会全員協議会 (倶知安町 佐藤議長)
- 13日 例月出納検査
- 14日~16日 議員先進地視察 (茨城県・栃木県 佐藤議長ほか)
- 19日 後志地域まちづくり学習会・村田のりとし新春の集い (壮瞥町 佐藤議長)
- 21日 後志町村議会議長会役員会·定期総会 (洞爺湖町 佐藤議長)
- 23日 後志町村等監査委員協議会第2回研究協議会 (札幌市 瀬戸川議員)
- 24日 北海道監查委員協議会第65回定例大会 (札幌市 瀬戸川議員)
- 28日 後志広域連合議会 (倶知安町 佐藤議長)

[3月]

- 1日 議会運営委員会
- 2日 南部後志環境衛生組合議会 (黒松内町 後藤議員) 南部後志衛生施設組合議会 (寿都町 長尾副議長)
- 7日 第1回村議会定例会
- 13日 例月出納検査、スポーツ表彰式 (おあしす 佐藤議長)
- 14日 第1回村議会定例会(2日目)、予算特別委員会
- 15日 道道美川黒松内線現地調査、中学校卒業式 (佐藤議長ほか)
- 17日 保育所卒園式 (佐藤議長ほか)
- 22日 小学校卒業式 (佐藤議長ほか)

岩内・寿都地方消防組合議会 (岩内町 髙島議員)

25日 はちろ吉雄政経セミナー (小樽市 佐藤議長)

